



平成30年度
特定非営利活動法人
アジアの誇り・プレアビヒア日本協会
活動報告書

2019年6月

目 次

1. 平成30年度（2018年度）事業報告	1
2. 平成30年度（2018年度）決算報告	8
3. 2019年度 事業計画	9
4. 2019年度 予算計画	12

1. 平成30年度（2018年度）事業報告

今期は以下の事業を実施いたしました。

①開発推進事業：エコビレッジ・エコパーク開発推進事業

②連携交流事業：現地との交流や学校活動の支援

③受託事業：公的資金、民間資金による助成事業、公的機関、民間機関などからの委託事業

また、これ以外に特筆すべき事項といたしまして、2018年3月に、当協会会員で写真家の奥村浩司氏がプレアビヒア寺院世界遺産登録10周年を記念したプレアビヒア博物館の開設に置きまして記念写真展を開催いたしました。カンボジア及びユネスコからの関係者が記念式典に集い、多数の方々が記念写真展を訪問されました。

1.1 開発推進事業

当協会の自主事業として、会員からの寄付をもとに、エコビレッジ・エコパークの開発を推進。特に、エコパークにおける植樹活動の推進、オーガニック農業試験のための水資源施設（貯水タンク、配水パイプ）整備を実施。これらの推進のために協会からは、多くの役員、会員が現地を訪問し、事業支援を実施しました。



1.2 連携交流事業

本年度も、現地に会員の多くが訪問されて、現地の地域住民との交流や学校活動の支援を実施してきた。

1.2.1 エコビレッジ住民との共同植樹実施

2018年6月24-27日にかけて、エコビレッジ及びエコパークにて、植樹を実施。総数で約2,000本の高木、低木と果樹をエコパーク、エコビレッジに村の方々と協会員とで共同して実施。毎年のエコパーク植樹は、乾期の水不足から一部は枯渇もみられるが、今年度の緑の募金事業による設備補修、会員からの寄付による配水区域拡大と排水量確保が整備され、活着率の向上が期待される。



1.2.2 学校との交流1

2018年8月23-24日に協会員（松本秋夫会員、清野仁会員）が現地を訪れ、植樹を実施するとともに、学校を訪問し、学用品及びスポーツ用品（バドミントンセット、後日サッカーボール20個）を贈呈。子供たちとはバドミントンを通じてスポーツ交流も実施。



2.2.3 学校との交流2（サッカー教室）

2019年1月29-30日に、元日本フットサル代表チーム主将の北原亘氏・松本大輔氏他が仲間と共に現地を訪問し、子供たちに、サッカーユニフォームを提供するとともに、サッカー教室を開催し、盛大な交流が行われました。協会の会員の一人が、北原選手との交流があり、プロアスリートマネジメント会社やユニフォーム制作会社の幹部の方々など6名が現地入りをしてくれ、子供たちとの交流を行いました。この活動は、日刊スポーツ新聞電子版や朝日新聞にも掲載され、プレアビヒアのサッカーが広く知れ渡ることとなりました。



1.3 受託事業

受託事業は、公的資金、民間資金による助成事業、公的機関、民間機関 などからの委託事業への取り組みが挙げられる。

1.3.1 助成事業申請

今年度、申請した助成事業は以下の通りであるが、緑の募金助成事業の採択のみであった。

No.	申請先	事業名	申請概要	結果
1	国土緑化推進機構	緑の募金公募	現地での植樹活動（第7年度）(290万円)	○（94万円採択）
2	JICA	草の根パートナー型事業	エコビレッジでの農業技術移転（3,000万円/3年）	×（2回目の応募、980万円）
3	外務省	NGO連携支援事業	プレアビヒア州エコパークにおける乾期農業用ため池の建設	×（18,000千円）
4	会員からの寄付事業	エコビレッジ農業支援	乾期農業推進のための設備支援	○（80万円）

1.3.2 寄付事業

一方、会員企業のカンボジア進出に関する相談があり、現地訪問視察に関する支援と、現地企業や政府との意見交換に関する情報提供を行いました。さらに、会員企業（松本秋夫氏）から、現地の農業開発への支援として寄付をいただき、乾期の水資源施設の整備や、農業開発支援を実施しました。

以下、各事業の実施内容を記載します。

① 緑の募金事業（カンボジア世界遺産プレアビヒア寺院周辺地区での植林活動（第7年目））

約2,000本の植樹を、エコビレッジにて実施を予定。2017年9月は現地の洪水出水による道路被災などにより、近隣での実施に変更して300本の植樹を学生隊の活動と合わせて実施。2回目は2018年6月に実施し、エコパークにて、防風林となる高木や低木を植樹するとともに、果樹を植樹。エコパークと借り受け事務所を結ぶ道路沿いの植樹を実施しました。



② 寄付事業

乾期の水資源確保並びに効率的な農業生産を目指すため、地域の方々と協議し、給水タンク及び配水網ネットワークの整備、ビニールハウスの試験導入をオーソリティと共同で実施。

1) 給水タンク及び配水網ネットワーク

エコパーク地域及び周辺地域を範囲として、井戸からポンプ取水を行い給水タンクに貯留し、塩ビパイプで導水し、スプリンクラー灌漑を整備。これらの用水は、植樹後の養生水として樹

木にも配水されました。



2) ビニールハウスの試験導入

雨期の大量の降雨から農作物が流失してしまう被害を防御するとともに、乾期の昆虫などによる食害を防ぎ、過度な蒸発散も防御するために、試験的にビニールハウスを導入して、効果を検討している。ビニールハウスの建設は2018年12月に開始され、2019年2月に完成した。早速、配水パイプを整備し、作付けを開始しています。



1.4 その他事業

1.4.1 定時総会開催

日時：2018年6月2日（土曜日）
 場所：JICA地球広場（市ヶ谷）会議室
 出席：会員19名中委任状を含め13名（68%）出席して成立

1.4.2 理事会開催

2018年理事会は以下のとおり毎月開催されました。

開催月日	審議・報告事項	開催月日	審議・報告事項
4月28日	決算案、新体制について、2018年事業計画案	10月27日	経理システム保守について、緑の募金完了報告、各事業進捗、草の根支援提案
5月19日	総会議事（事業報告、決算、2018年度計画、定款変更、役員）	11月27日	JICA草の根応募結果、会員寄付事業、会員からのPR支援事業
6月2日	役員役職の審議と承認	12月22日	カンボジア日本大使館提案計画、現地活動の報告
6月30日	植樹偉業報告、事務所リニューアル、現地NGO報告、事業報告	2月2日	緑の募金進捗、各事業の進捗
7月21日	緑の募金採択報告、法務局登記完了、事業報告	2月26日	草の根支援事業不採択、緑の募金進捗、2018年決算、10周年事業
9月1日	緑の募金報告、事業進捗、医療関連会員現地視察報告	3月30日	草の根支援不採択説明、2018年決算について、10周年事業
9月29日	緑の募金進捗報告、現地NGO報告、N連体制強化提案、会費納入状況		

1.4.3 その他（広報事業）

ホームページ改定。
 年間3回のホームページの改定を実施しました。



2. 平成30年度決算報告

活動計算書 (単位:円)

アジアの誇り・プレアビビア日本協会 自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	200,000		
賛助会員受取会費	120,000		
受取入会金	20,000	340,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		5,678,838	
【受取助成金等】			
受取助成金		1,030,000	
【その他収益】			
受取利息		18	
経常収益計		7,048,856	
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
臨時雇賃金	204,058		
給与	133,124		
通勤手当	19,912		
人件費計	357,094		
(その他経費)			
諸謝金	137,451		
印刷製本費	23,405		
会議費	71,974		
旅費交通費	5,467,184		
通信運搬費	809,087		
消耗品費	599,250		
地代家賃	842,004		
保険料	58,983		
租税公課	46,831		
雑費	225,038		
その他経費計	8,281,207		
事業費計		8,638,301	
【管理費】			
(人件費)			
臨時雇賃金	10,540		
給料手当	6,876		
通勤費	1,028		
人件費計	18,444		
(その他経費)			
諸謝金	7,099		
印刷製本費	1,209		
会議費	3,718		
旅費交通費	282,383		
通信運搬費	41,790		
消耗品費	30,952		
地代家賃	43,490		
保険料	3,047		
租税公課	2,419		
支払手数料	34,752		
支払利息	57,557		
雑費	11,623		
その他経費計	520,039		
管理費計		538,483	
経常費用計		9,176,784	
当期経常増減額		△ 2,127,928	
【経常外収益】			
経常外収益計		0	
【経常外費用】			
経常外費用計		0	
税引前当期正味財産増減額		△ 2,127,928	
当期正味財産増減額		△ 2,127,928	
前期繰越正味財産額		236,509	
次期繰越正味財産額		△ 1,891,419	

平成30年度 計算書類の注記
特定非営利活動法人 アジアの誇り・プレアビビア日本協会

重要な会計方針
計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正)によっています。
消費税等の会計処理
1. 消費税等の会計処理は、税込み方式によっています。
事業費の内訳

(単位:円)

科目	自然環境保全修復事業	植林・植樹事業	農村開発事業	観光開発事業	教育支援事業	広報事業	事業部門計	管理部門	合計
経常費用									
(1)人件費									
臨時雇賃金	5,287	63,584	111,965	7,050	15,241	931	204,058	10,540	214,598
給与	3,449	41,481	73,045	4,599	9,943	607	133,124	6,876	140,000
通勤手当	516	6,204	10,926	688	1,487	91	19,912	1,028	20,940
人件費計	9,252	111,269	195,936	12,337	26,671	1,629	357,094	18,444	375,538
(2)その他経費									
諸謝金	3,561	42,829	75,420	4,748	10,266	627	137,451	7,099	144,550
印刷費	606	7,293	12,842	809	1,748	107	23,405	1,209	24,614
会議費	1,865	22,427	39,492	2,486	5,376	328	71,974	3,718	75,692
旅費交通費	141,654	1,703,565	2,999,806	188,872	408,350	24,937	5,467,184	282,383	5,749,567
通信運搬費	20,963	252,110	443,941	27,951	60,432	3,690	809,087	41,790	850,877
消耗品費	15,527	186,725	328,804	20,702	44,759	2,733	599,250	30,952	630,202
地代家賃	21,816	262,367	462,002	29,088	62,890	3,841	842,004	43,490	885,494
租税公課	1,213	14,593	25,695	1,618	3,498	214	46,831	2,419	49,250
保険料	1,528	18,379	32,363	2,038	4,406	269	58,983	3,047	62,030
支払い手数料								34,752	34,752
支払い利息								57,557	57,557
雑費	5,831	70,121	123,478	7,774	16,808	1,026	225,038	11,623	236,661
その他経費計	214,564	2,580,409	4,543,843	286,086	618,533	37,772	8,281,207	520,039	8,801,246
経常費用計	223,816	2,691,678	4,739,779	298,423	645,204	39,401	8,638,301	538,483	9,176,784

財産目録 (単位:円)
アジアの誇り・プレアビビア日本協会 平成31年 3月31日 現在

<p>【流動資産】</p> <p>(現金・預金)</p> <p>現金 1,071,300</p> <p>普通預金 556,281</p> <p>現金・預金計 1,627,581</p> <p>(その他流動資産)</p> <p>未収収益 540,000</p> <p>その他流動資産計 540,000</p> <p>流動資産合計 2,167,581</p>		<p>△ 1,891,419</p>
<p>【流動負債】</p> <p>前受金 540,000</p> <p>流動負債合計 540,000</p> <p>【固定負債】</p> <p>長期借入金 3,519,000</p> <p>固定負債合計 3,519,000</p> <p>負債合計 4,059,000</p>		<p>正味財産合計 1,891,419</p>
<p>正味財産合計 1,891,419</p>		<p>△ 1,891,419</p>

貸借対照表

(単位:円) 平成31年 3月31日 現在

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		前受金	540,000
現金・預金	1,627,581	流動負債合計	540,000
現金・預金計	1,627,581	【固定負債】	
(その他流動資産)		長期借入金	3,519,000
未収収益	540,000	固定負債合計	3,519,000
その他流動資産計	540,000	負債合計	4,059,000
流動資産合計	2,167,581	正味財産の部	
		前期繰越正味財産	236,509
		当期正味財産増減額	△ 2,127,928
		正味財産合計	△ 1,891,419
資産合計	2,167,581	負債及び正味財産合計	2,167,581

3. 2019年度 事業計画

3.1 事業実施の方針

◎今年度のテーマ:「プレアビビア・エコビレッジ総合開発」

自主事業、助成事業、各種委託事業をとおして、プレアビビア地域の発展の基礎を確立する。
以下、各分野別の事業概要である。

(1)自主事業 ・自主事業 ・連携交流事業 ・支援事業	① エコビレッジ・エコパーク開発推進事業 ② 会員派遣事業 ③ 文化・技術支援事業
(2)受託事業 ・助成事業 ・公的資金等の受託事業展開	① 緑の募金助成事業 ② NGO連携事業(外務省) ③民間助成事業
(3)カンボジアNGO支援事業	① 現地NGO活動支援
(4)広報活動の推進事業	① ホームページ更新・拡充 ② 会員向け広報事業
(5)その他事業	① 定時総会開催 ② 理事会開催(毎月) ③ 事務局体制の強化 ④ 会員の募集増強 ⑤ その他、定款に定める事業

3.2 事業の具体的内容

(1) 自主事業について

①エコビレッジ・エコパーク開発推進事業

前年度に継続し、オーガニック農業の基礎技術を支援する。また、ビニールハウス栽培の技術支援を実施。そのために、現地エコパークにおいて、活動を継続する。

②会員派遣事業

会員各氏の参加を促し、積極的な現地交流を強化する。

③文化・芸術支援事業

協会の10周年を記念し、国内での講演会を実施。あわせて、写真展などを企画する。

(2) 受託事業について

前年までの実施事業を参考に、以下の各事業について、公募申請を予定。

①緑の募金事業関連

現地で引き続き植林事業及び維持管理技術研修を実施。さらに、2019年度申請を行い、継続して事業を予定。(2,760,000円申請、採択予想1,000,000円)

また、今年度新規に、トヨタ財団の「海外プロジェクト：トヨタ環境助成プログラム」への申請を計画し、3,233,000円を申請し、1,000,000円の採択を目指す

②外務省N連事業

溜池建設(3か所)、灌漑施設整備(パイプネットワーク総延長2.8km)の整備(8,700,000円)

③民間助成事業(会員による寄付事業)

現地での農業推進を支援する、会員企業の御寄付などを推進し、観光農業開発などの企画を進める。(300,000)

以上の、各事業で想定される予算は以下の通りで、総額11,000,000円を見込む。

No	事業名	想定予算(円)	管理予算(円)
1	緑の募金事業	1,000,000	0
2	トヨタ財団	1,000,000	0
3	外務省N連事業	8,700,000	0
4	会員寄付事業	300,000	100,000
5	その他	0	0
総計		11,000,000	100,000

3.3 カンボジアNGO支援

当協会のカンボジア組織となるカンボジアNGOについて、その支援として以下を実施する。

(1) NGO職員採用と事業共同実施

当初の設立計画に対応して、今年度中に5-10名のNGO現地職員の採用を行い、日本との共同事業を開始する。

①緑の募金事業支援

②N連事業による、水資源施設建設事業

③その他

(2) 日本からの支援による事務体制整備

カンボジア政府への納税処理、労働許可処理などへの対応、日本からの事業への経理対応のための体制を整備。事務担当を複数名確保。

(3) カンボジア政府との連携

納税、年次活動報告提出、労働環境報告など実施。

3.4 会員確保強化

会員制度の変更に伴い、事業の展開と合わせて、会員の増強を図る。

< 現 状 >

区 分	会員数	備 考
正会員	35	会費納入者 19名
賛助会員(個人)	69	会費納入者 30名
賛助会員(学生)	60	会費納入 0名
賛助会員(団体、企業)	1	会費納入 1 団体

< 2018年度 末 >

区 分	会費納入会員数	備 考
正会員	19-->25	+6
賛助会員(個人)	30-->40	+10
賛助会員(学生)	0-->10	+10
賛助会員(団体、企業)	1-->1	0
会費収入合計	76名	26増、410,000円

会員増強に伴う、会費収入として、約410,000円を見込む。

また、賛助会員からの積極的な寄付金収入を獲得することと、団体・企業会員からの寄付金収入、講演会などの活動を通じた寄付金収入、そして、クラウドファンディング等の活動を通じた寄付金獲得も計画する。

No	種 別	目 標(円)	備 考
1	会員・賛助会員寄付獲得	990,000	
2	団体・企業会員寄付	50,000	
3	講演会活動での寄付獲得(参加費等)	150,000	
4	クラウドファンディングによる獲得	500,000	
備 考		1,690,000	

3.5 広報活動

(1) ホームページ更新・拡充

会員拡充、賛助会員拡充にホームページの更新・拡充は大きな役割を果たす。当協会のホームページは、2016年の更新から1年半にわたり、情報の軽微な更新が中心で的確な発信が少ない。

今年度は、積極的に情報発信を行うこととし、ホームページに加え、ツイッター、フェイスブックの活用もあわせ定期的な発信を実施する。

情報内容として、以下を計画する。

①協会からの発信(現地情報、事業状況、イベント発信、新着情報)

②会員からの発信(ニュース、関連情報など)

③現地情報(NGO活動、オーソリティ活動、エコパーク等)

新たに英文での発信、NGOのページ開設を目指す。

(2) 会員向け広報事業

会員向け広報として、①協会広報誌の作成(パフレット)、②ニュースレターの創設を実施。

メールでの配信、郵送での配信を実施。

(3) 一般向け広報事業

ホームページや会員向け広報の情報の中から、一般向けとして、現地活動の積極的PRを行うことを目標に、会員向け資料を作成し配布する。

(4) 記念講演会事業

2019年に当協会が設立されてから、10年を経過しました。これを記念して2019年秋に関係者並びにカンボジアに造詣の深い方々に話題を提供いただき、記念講演会を開催し、会員及び一般の参加を目指します。

4. 予算計画

2019年度収入計画

項目	内容	予算	備考
1.会費、寄付	受取会費、受取寄付金	2,100,000	
2.受託事業	助成事業、公的資金補助事業	10,700,000	
	民間助成事業	300,000	
合計		13,100,000	

2019年度支出計画

事業項目	事業内容	予算
1.運営管理	運営管理に関わる事業	1,700,000
2.自主事業	①エコビレッジ・エコパーク開発推進事業	100,000
	① 連携交流事業	
	① 支援事業	
3.受託事業	① 緑の募金助成事業	1,000,000
	② トヨタ財団事業	1,000,000
	③ NGO連携事業（外務省）	8,700,000
	④ 会員寄付事業	300,000
5.カンボジアNGO	・NGO人材確保	100,000
	・NGO運営支援	
6.広報事業	・ホームページ更新	100,000
	・関連広報実施	
7.その他事業	① 総会開催	100,000
	② 理事会開催（毎月）	
	③ 事務局体制の強化	
	④ 会員の募集増強	
	⑤ その他事業（記念講演会）	
合計		13,100,000

<参考資料>

NPO法人 アジアの誇り・プレアビヒア日本協会 理事・監事・役員名簿

平成30年4月1日から平成32年3月31日まで		
特定非営利活動法人アジアの誇り・プレアビヒア日本協会		
役名	氏名	担当
理事長	森田 徳忠	全体総括（元アジア開発銀行局長、カンボジア政府顧問、アジア工科大学理事）
副理事	伊奈 義高	事業担当（アイゲージ株式会社 代表取締役）
副理事	伊藤 一正	事務局長・事業担当（東京都市大学大学院工学研究科客員教授、株式会社International Business Information Bank 代表取締役）
理事	加藤 節夫	プレアビヒア・インターナショナル関係・広報担当（元日本セメント理事、日本旅行作家協会会員）
理事	熊谷 玄	事業担当（熊谷玄事務所 所長）
理事	浅野 大介	事業担当（現経済産業省）
理事	中村 正孝	経理担当（元デクシア クレディ ローカル銀行東京支店 常勤顧問、現NPO法人プラネットファイナンスジャパン専務理事・事務局長）
理事	小林 慶吾	事業担当・広報担当（株式会社ヴァンテージ 代表取締役）
監事	佐藤 敬	監査（ASEAN新加盟4カ国（CLMV）を応援する会代表、元国際協力銀行）
相談役	角田達俊	（元日本輸出入銀行 大阪支店長）

理事8名、監事1名、相談役1名

以 上

会員資格と特典（参考）

項目	正会員（一般）	賛助会員（一般）	賛助会員（学生）	賛助会員（企業・団体）
入会金	10,000円	無	無	無
年会費	10,000円	3,000円以上	1,000円以上	30,000円以上
総会議決権	有	無	無	無
会報	冊子／電子データ	電子データ	電子データ	冊子／電子データ
WEBへのバナー表示	－	－	－	希望により可
部会・事業参加	全事業参加可能	一部事業参加可	一部事業参加可	全事業参加可

NPOアジアの誇り・プレアビヒア日本協会 会員情報

（2019年6月15日時点）

会員種別	会員数
正会員	35
賛助会員（一般）	69
賛助会員（学生）	60
賛助会員（企業・団体）	1

特定非営利活動法人

アジアの誇り・プレアビヒア日本協会 平成30年度（2019年度）活動報告

2019年6月30日

アジアの誇り・プレアビヒア日本協会 作成